



製造業が使える！ 補助金支援策 3選



人手不足を解消したい！
受発注を自動化したい！
生産量をもっと増やしたい！
補助金って使えるのかな？

自社の経営課題を見つけ、目的に合った補助金を選ぶことで事業の可能性が大きく広がります。

省力化で時間を生む



ハード

カタログ注文型

省力化投資補助金

最大1500万円 補助率1/2

ITで仕組みを整える



ソフト

デジタル化・AI導入補助金

最大450万円 ※通常枠

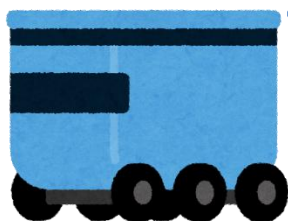
販促で売上を伸ばす



広告

持続化補助金

最大250万円 ※小規模事業者のみ



ハード

検品・仕分システム、無人搬送車、自動倉庫を導入し、製造・検品・保管のオペレーションを最適化

効果：無人搬送車の活用で、荷物の搬送作業の人手が大幅短縮
作業員負担を軽減し、工場全体の生産性が向上

製品例：自動倉庫／検品・仕分けシステム／無人搬送車（AGV・AMR）／オートラベラー
丁合機／段ボール製箱機 他※専用カタログから選択して販売事業者へご連絡ください



ソフト

EDI・受発注システムの導入で、請求・受発注業務を自動化

効果：受注データ入力工数・ミス削減、請求業務の自動化等により
納品までの時間を短縮。

導入例：EDIシステム／受発注ソフト／RPA・SFAツール／BIツール ほか



広告

新製品・新商品の販路開拓のため展示会に出品
新製品の特長を記載した広告を作成し配布

効果：周知効果大で取引先数増加／新製品に関する問い合わせ増加
(※対象：従業員数20人以下の小規模事業者)

活用例：新製品・商品の試作開発用原材料の購入費／新たな包装パッケージのデザイン費／
SNS広告・WEBサイト・EC構築（広報費・WEB関連費の上限は各30万円（税込）まで）など

IT経営サポートセンター(中小機構)

複数回のオンライン相談(60分/回)により、課題の整理からITを活用した解決策の提示まで、実務経験豊富なITの専門家がお悩みに応じたアドバイスをいたします。



省力化ナビ(中小機構) New !



省力化・生産性向上への第一歩
今から始めませんか？

省力化+ナビ



Before 課題

製造業の例



After 解決策



厚生労働省が行っている助成金

雇用関係

雇用環境の改善や人材育成を支援する助成金制度が多数あります。

【主な助成金】

- キャリアアップ助成金(非正規雇用者の正社員化)
- 両立支援助成金(育児・介護と仕事の両立支援)
- 人材開発支援助成金(職業訓練の実施支援)
- 業務改善助成金
- 働き方改革推進支援助成金
- 産業雇用安定助成金
- 地域雇用開発助成金
- 特定求職者雇用開発助成金

■対 象: 中小企業・個人事業主 ■支給額: 数十万円～数百万円



事業承継

事業承継・M&A補助金

「事業承継・M&A補助金」で中小企業の生産性向上、持続的な賃上げに向けて 事業承継に際しての設備投資や、M&AやPMIの専門家活用費用等を支援します！

【事業規模別の補助金のイメージ】

売上規模	事業者数	売上拡大	高付加価値化
10億円 1億円	約60万者	高付加価値/新チャレンジ/海外展開 新事業進出・ものづくり補助金 上限9,000万 補助率1/2等 対象経費: 機械装置・システム構築費、建物費(新事業進出枠、グローバル枠のみ) 技術導入費、専門家経費、広告宣伝費 ほか	事業承継 事業承継・M&A補助金 上限2,000万 補助率1/2等 対象経費: 謝金、旅費 等
1億円 1,000万円	約140万者	持続化補助金 上限250万 補助率2/3 等 対象経費: 広告宣伝費(看板、チラシ、WEBサイト) ほか	効率化 省力化投資補助金 上限1億 補助率1/2等 対象経費(一般型): オーダーメイド機械装置・システム構築費 ほか
1,000万円 以下	約140万者		デジタル化・AI導入補助金 上限450万 補助率1/2等